

## ～新学期を迎えて～

ご入園、ご進級おめでとうございます。

桜の花に見守られて、新年度がスタートしました。今年度よりみみよう保育園園長を拝命しました。岩槻由紀と申します。平成11年に採用していただき今日までみみようで勤めさせていただいております。その間多くの子どもたちに携らせていただき、子どもたちにとっての保育園とは、大好きな人や楽しい出来事が溢れる、温かくて安心できる場所でありたいと思っています。身の引き締まる思いではありますが、日々精進して参ります。どうぞよろしく願いいたします。

新学期が始まり、保護者の皆様におかれましては、子どもたちがまたひとつ大きくなった嬉しさや喜びとともに、「早く園生活に慣れてくれるかな?」「泣かずに過ごせるかな?」と不安な気持ちもあるのではないのでしょうか。子どもたちが1日も早く新しい環境に慣れ、安心して過ごしていけるよう、子どもたちの思いに全職員で向き合い、寄り添っていきたいと思っています。何か困ったことや、不安なことがありましたら、側にいる職員にお声掛けいただき、一緒に考えさせていただけたらと思います。

みみよう保育園は、0、1、2歳のお子さんをお預かりする定員45名の小さな規模の乳児施設です。こあら組、こじか組、きりん組と学年ごとの編成はありますが、いつも0、1、2歳の子どもたちが、園庭やお部屋で顔を合わせ一緒に過ごしています。友だちも保育者もみんな一緒。小規模な園だからこそ、子ども同士の関わりはもちろん職員みんなが、一人ひとりの子どもを思い、きょうだいのような、家族のようなあたたかい雰囲気を大切に保育を進めてまいります。

また、赤ちゃんは、生まれた時から好奇心いっぱい、大好きな大人の声に「あ～う～」とお話したり、目の前に気になるものを見つけると手を伸ばしたり…。そのたびに、優しいまなざしや笑顔で語りかける大人との関わりによって、安心感を抱いていきます。大好きな大人との安心感は、1・2歳になると様々なことにチャレンジしていく力にもなります。

保護者の方と、こうした子どもたちの成長過程を日々のエピソードなどで共有しながら、子育ての大変さはもちろん、楽しさも一緒に感じ語り合っていきたいと思っています。

乳児期は、人生の根っこの部分です。その大切な時期を、全職員でしっかりと愛情を注ぎ、一人ひとりの子どもたちがそれぞれの個性を発揮しながら、様々な色の花を咲かせていけるよう関わっていきたいと思います。

コロナ禍から3年。マスクをつけて生活するのが当たり前になりましたが、常に今できることを考えて保育を進めてきました。コロナ禍であろうと、改めて子どもの持つ力の素晴らしさを実感している毎日です。そして、いよいよ今年度は、マスクを外し、子どもたちと顔を見合わせ、笑ったり、喜んだり、時には涙したり…。今までマスクで見えなかった表情を思いっきりだしながら、今できるあたり前の毎日に感謝し、子どもたちと共にわくわくする日々を過ごしてまいりたいと思います。

園長

